

「ふるさと交流村」アンケート

“みんなが良くなることを”

「道の駅」住民アンケート 第2次中間集計

拠点施設の建設について	
建設を先行すべき	15
建設は先行すべきでない	154
どちらとも言えない	26
無記入	6
合計	201通 (7月4日現在)

自由意見特集(第1次中間集計の続き)。句読点、接続詞などは編集者で修正しました。

①建設を先行すべき

農業者にとって必要である。出来たら出来たでがんばる(70代)

甲良町の特産品を考えて欲しい(60代)

②建設は先行すべきでない

建物をつくれば人が集まるといふ発想が安直
近くに愛東マーガレットステーションがあるのに(大成功)甲良町にそれと似た場所を建設してもムダ! 必要は全くなし! 7億4千万円もの税金がもつたいない。それよりも高齢者の人たちが行きたいところへ連れて行ってもらえる無料バスや、欲しいものが買ってきてもらえるように、そういう事を頼める施設を作るほうがよっぽどいいと思います(すでにそういう施設があるなら認識不足ですいません)。知らないところで色んな問題がすすんでいるのだなと感じる事柄が多いです。また、一つのことに対して一方からしか聞いていないと悪い事柄も良いことと受け取ってしまいがちなので、とても危険だなと思います。甲良町は他の市町村を頼ることなく、甲良町全体で、自給自足できるようにしていけば何があっても多少は持ちこたえられるのかなと、そうなればいいなと思います。食料品に限ってもずいぶん変わるのではないのでしょうか? 自分だけが、自分の家族だけが、自分に関係あるものだけが良かったらいい!! ではなくて、みんなが一緒に良くなるように個々に考え方を考えていかなないと、何をやっても、うまくいきません(30代)

維持できるとは思わない(70代)
建設ありきで未だに利権臭のする旧態依然の姿勢は許せない。もし建設強行するのであれば責任をハッキリさせておくべきで「やった者勝ち」を許してはいけない。場所も計画も悪い(50代)

甲良町を第二の夕張にするな(70代)
町民に負担のかからないように(50代)

1〜4以外にダメと思うのは町民の意見を反映させようとしていない町行政の姿勢があります。甲良町にとってはまさしく死活問題である「農業」であるのに町民不在で押し進めようとしているところでは成功するはずがありません。ひとつひとつ土台を固めていくていねいな行政があつてこそ成功するものと考えます(50代)

みなさんのご意見 お聞かせください



甲良民報

2008年7月6日 387号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel. Fax 38-4949

地域農業の再生と 食の安全を考えるつどい

と き：7月19日(土) 1:30 開会
と ころ：保健福祉センター1階 研修室
パネリスト：一部決まる!!
* 山内よしおさん 湖北地区委員会副委員長/海瀨町営農組合長
* 野村秀一郎さん 愛東マーガレットステーション直売所運営委員会副委員長、
* 要請中 甲良町担当者、地元関係者など
日本共産党は今年3月、自給率向上をめざし「農業再生プラン」を発表。立場のちがいを越えて、明日の農業・甲良町に何が必要か! フロア参加者からもお気軽にご意見よろしくをお願いします。

③どちらとも言えない
高齢者になった今、どう答えていいかわからない(70代)
何もしないでじっとしていても進展しないのではないかとも思う。ただ、それが道の駅に直接つながるとは言えない。多額の資金を投じるのだから、それなりの利益を熟慮の上、責任ある行動をしてほしい(40代)

自分の畑等をつくっているので金屋の直売所も行ったことがないため、計画はあまり進捗性はないと思う。まずは、設備費に多額の税金投入が、農業が元気になる拠点作りになるか?と町長の考えにも疑問ばかりです。用地を取得してから、町民の意見等は後回しになっていきますね。行政は町民の意見を先に聞いて欲しかったですね。特産品をつくる段階も厳しいものがあると思います。「広報こつら」ではいかにも夢のあるように書かれています。賛成はできかねます。計画は十分に検討されますよう(50代)